

# アジアの財産3分法ファンド

## 償還 運用報告書(全体版)

第174期(決算日 2025年10月14日) 第176期(決算日 2025年12月15日) 第178期(償還)(償還日 2026年1月27日)  
第175期(決算日 2025年11月14日) 第177期(決算日 2026年1月14日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「アジアの財産3分法ファンド」は、信託約款の規定に基づき、2026年1月27日に信託期間が終了し、償還いたしました。  
ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に對しまして、重ねてお礼申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合
信託期間	2007年6月29日から2026年1月27日までです。
運用方針	主としてアジアの国や地域を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに分散投資を行ない、安定したインカム収益の確保を図るとともに、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「アジア・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド クラスA」円建受益証券 「アジアリートマザーファンド」受益証券 「アジアンボンドマザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期および第2計算期は収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、基準価額水準などを勘案し、上記安定分配相当額のほか、委託者が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

<940887>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404  
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近29期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			株組入比率	債券組入比率	投資信託組入比率	純資産額	
		税金	込	み					
	円	分	配	金	騰	落	中	率	
	円	銭	円	円	%	%	%	百万円	
150期(2023年10月16日)	10,695			30	△1.3	—	48.2	46.1	1,245
151期(2023年11月14日)	10,832			30	1.6	—	46.8	45.7	1,254
152期(2023年12月14日)	10,563			30	△2.2	—	47.1	47.0	1,191
153期(2024年1月15日)	10,874			30	3.2	—	47.2	47.1	1,207
154期(2024年2月14日)	10,978			30	1.2	—	48.4	46.6	1,208
155期(2024年3月14日)	10,897			30	△0.5	—	46.9	47.4	1,169
156期(2024年4月15日)	10,930			30	0.6	—	47.2	47.9	1,168
157期(2024年5月14日)	11,116			30	2.0	—	46.0	48.3	1,168
158期(2024年6月14日)	11,145			30	0.5	—	46.9	47.6	1,165
159期(2024年7月16日)	11,483			30	3.3	—	46.3	48.1	1,186
160期(2024年8月14日)	10,769			30	△6.0	—	48.4	46.4	1,110
161期(2024年9月17日)	10,806			30	0.6	—	47.5	47.3	1,086
162期(2024年10月15日)	11,402			30	5.8	—	46.2	47.5	1,145
163期(2024年11月14日)	11,218			30	△1.4	—	47.8	46.4	1,109
164期(2024年12月16日)	11,103			30	△0.8	—	47.8	46.6	1,093
165期(2025年1月14日)	10,943			30	△1.2	—	48.1	46.4	1,073
166期(2025年2月14日)	10,865			30	△0.4	—	47.5	46.6	1,061
167期(2025年3月14日)	10,680			30	△1.4	—	47.4	47.4	1,033
168期(2025年4月14日)	9,982			30	△6.3	—	48.6	45.2	960
169期(2025年5月14日)	10,789			30	8.4	—	47.0	47.0	1,040
170期(2025年6月16日)	10,760			30	0.0	—	47.5	47.4	1,032
171期(2025年7月14日)	11,106			30	3.5	—	47.2	47.7	1,059
172期(2025年8月14日)	11,362			30	2.6	—	47.3	47.8	1,066
173期(2025年9月16日)	11,639			30	2.7	—	46.8	48.9	1,074
174期(2025年10月14日)	11,915			30	2.6	—	46.8	49.2	1,093
175期(2025年11月14日)	12,149			30	2.2	—	47.4	47.8	1,064
176期(2025年12月15日)	12,047			30	△0.6	—	46.4	47.7	1,013
177期(2026年1月14日)	12,066			30	0.4	—	—	—	978
(償還時)	(償還価額)								
178期(2026年1月27日)	12,063.03			—	△0.0	—	—	—	970

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額 円 銭	騰 落 率	債 券 組 入 比 %	投 資 信 託 組 入 比 %
			率		
第174期	(期 首) 2025年9月16日	11,639	—	46.8	48.9
	9月末	11,587	△0.4	47.0	48.9
	(期 末) 2025年10月14日	11,945	2.6	46.8	49.2
第175期	(期 首) 2025年10月14日	11,915	—	46.8	49.2
	10月末	12,158	2.0	46.5	48.8
	(期 末) 2025年11月14日	12,179	2.2	47.4	47.8
第176期	(期 首) 2025年11月14日	12,149	—	47.4	47.8
	11月末	12,148	△0.0	46.9	47.6
	(期 末) 2025年12月15日	12,077	△0.6	46.4	47.7
第177期	(期 首) 2025年12月15日	12,047	—	46.4	47.7
	12月末	12,106	0.5	—	—
	(期 末) 2026年1月14日	12,096	0.4	—	—
第178期	(期 首) 2026年1月14日	12,066	—	—	—
	(償還時) 2026年1月27日	(償還価額) 12,063.03	△0.0	—	—

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

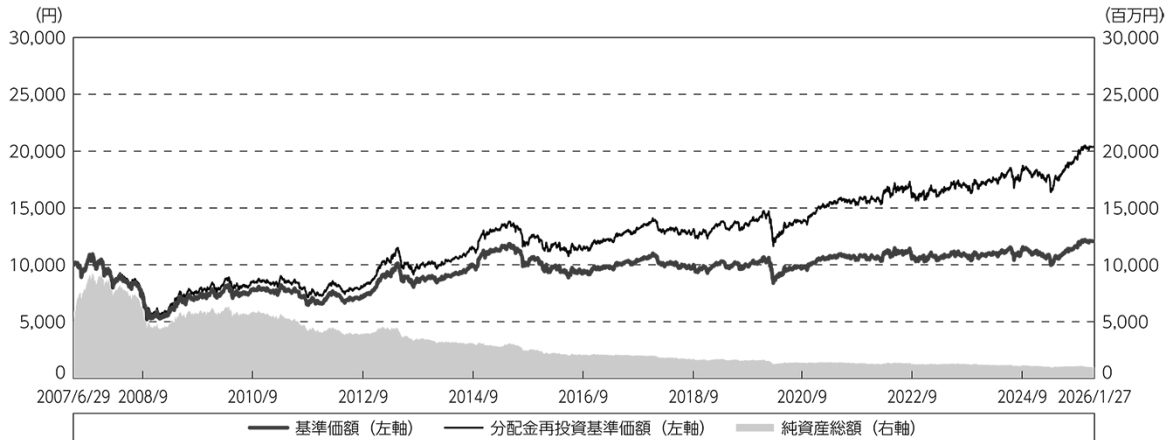
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2007年6月29日～2026年1月27日)

## 設定以来の基準価額等の推移



設定日：10,000円

第178期末(償還日)：12,063円03銭(既払分配金(税込み)：5,080円)

騰落率：103.7%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、経済発展が期待されるアジアの国や地域の「株式」、「不動産」、「債券」に実質的に分散投資を行ない、安定したインカム収益の確保を図るとともに、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。各資産への投資は投資信託証券を通じて行ないました。信託期間中における各投資信託証券の騰落率は以下の通りとなりました。

ファンド名	騰落率	計算期間
チャイナランド株式ファンド(適格機関投資家向け)	3.2%	2007/6/29～2015/3/24
N i k k o AM(モーリシャス)クラスA	39.0%	2007/6/29～2015/3/24
東南アジア株式マザーファンド	64.7%	2007/6/29～2015/3/24
アジア・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド クラスA	101.4%	2015/3/25～2025/12/19
アジアリートマザーファンド	274.6%	2007/6/29～2026/1/27
アジアンボンドマザーファンド	114.0%	2007/6/29～2026/1/26

信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

#### <値上がり要因>

- ・人工知能（A I）関連の需要が世界的に高まったこと。
- ・期間中の金利環境が予想よりも低水準で推移したこと。
- ・供給に限られるなか、需要が高まったデータセンターや、eコマースの広がり恩恵を受けた物流などを主要資産とするリートが大幅に上昇したこと。
- ・2008年から2009年にかけての世界金融危機が「安全資産への逃避」を引き起こし、米国国債利回りや一部のアジア諸国の国債利回りが大幅に低下（債券価格は上昇）したこと。

#### <値下がり要因>

- ・中国の景気が減速したこと。
- ・貿易をめぐる緊張が世界的に高まったこと。
- ・地政学的な緊張や中国経済の減速を受けて、香港の経済見通しの不透明感が強まったこと。
- ・2021年以降、米国連邦準備制度理事会（FRB）による一段と積極的な金融引き締めへの期待が高まり、多くのアジア諸国の国債利回りが大幅に上昇（債券価格は下落）したこと。

## 投資環境

### （アジア株式市況）

期間中のアジア株式市場（日本除く）は、世界金融危機、欧州債務問題、中国経済の構造調整、新型コロナウイルス感染拡大、その後の金融引き締め局面といった複数の大きな局面を経ながらも総じて堅調に推移し、上昇しました。

期間の初めは概ね上昇基調で始まったものの、2008年の世界金融危機によりアジア株式市場は大幅な下落を余儀なくされました。その後、各国政府および中央銀行による大規模な財政出動や金融緩和策を背景に、2009年以降は回復基調へ転じました。特に、中国を中心としたインフラ投資や内需刺激策が、市場の下支え要因となりました。

2011年から2016年にかけては、欧州債務問題や中国経済の減速懸念などを受け、市場は上昇と調整を繰り返す展開となりました。一方で、ASEAN諸国やインドにおける中間層の拡大や企業ガバナンスの改善などを背景に、中長期的な成長期待は維持されました。

2017年から2019年にかけては、世界景気の回復やIT関連需要の拡大を背景に、市場は堅調に推移しました。2020年には新型コロナウイルス感染拡大の影響で急落したものの、各国の金融緩和や財政政策、さらにはデジタル関連需要の拡大を背景に、比較的短期間で回復局面に入りました。

2021年以降は、インフレ高進を受けた米国の金融引き締めや地政学的リスクの高まりにより、市場は再び変動性の高い展開となりました。しかし、インドやASEAN諸国を中心とする高い潜在成長力に加え、デジタル化、脱炭素投資、AI関連需要などが評価され、2024年以降は再び上昇基調が強まり、期間を終えました。

### （アジア不動産投資信託市況）

期間中のアジアリート市場は、主要市場のシンガポールは上昇、香港は下落しました。

アジアリートは資産クラスとして、期間を通じて多様なセクターにおいて成長を遂げてきました。特に、物流施設やヘルスケア、データセンターなどを中心に、安定したキャッシュフローと相対的に高い配当利回りを

背景に、中長期的な拡大が見られました。一方、2008年のリーマンショックや2020年以降の新型コロナウイルスのパンデミック(世界的流行)といった世界的な危機局面では、市場全体が大きな調整局面を経験しました。

2008年のリーマンショック時には、世界的な信用収縮と流動性の急低下を受けて不動産価格が大幅に下落し、リート市場も深刻な影響を受けました。多くのリートが高いレバレッジや資金調達環境の悪化に直面し、増資や資産売却を通じたバランスシートの調整を余儀なくされました。その後は、金融緩和策や経済回復を背景に、アジアリート市場は概ね順調に回復しました。

また、2020年以降の新型コロナウイルスのパンデミック期には、経済活動が再開される2021年頃まで、リート市場は再び厳しい環境に置かれました。とりわけ商業施設やオフィスといったサブセクターでは、人流の減少やテレワークの普及を背景に稼働率や賃料水準が低下し、短期的に業績の悪化が見られました。

その後、2022年に急速な金融引き締めが実施された影響から、高金利環境の長期化に対する懸念が高まりました。FRBは2024年以降、段階的に利下げを開始したものの、金利水準は依然として高止まりし、調達コストの上昇や評価倍率の低下を通じてリートのファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)は弱含みしました。この結果、市場の回復は緩やかなものにとどまりました。

銘柄別に見ると、デジタル化の進展やeコマースの拡大といった複数年にわたる構造的成長トレンドを背景に、データセンターや物流施設といった資産クラスを主要資産とするリートは相対的に堅調な推移を示しました。これらのセクターは景気循環の影響を受けにくく、長期的な需要拡大が見込まれることから、投資家の選好が高く、市場全体の下支え要因となりました。

為替市場では、対円でシンガポールドル、香港ドルともに上昇し、円ベース・リターンは押し上げられる結果となりました。

#### (アジア債券市況)

2007年半ば以降、世界の債券市場は一連の決定的なショックと政策対応による影響を受け、米国国債の動きが世界的な金利市場のより広範な方向性を決定しました。2007年に米国のサブプライム住宅ローン市場で初期段階のストレスが顕在化すると、2008年には急速に世界金融危機へと拡大し、安全資産への急激な資金移動が生じました。投資家が安全性を求めめるなか国債利回りは急低下し、各国中央銀行は金融システムの安定化に向けて断固たる措置を講じました。FRBは政策金利をゼロ近辺まで引き下げ、大規模な資産購入を開始し、米国国債利回りを低水準に抑え込みました。

その後の数年間、主要国では量的緩和が実施されるなど異例の金融緩和が支配的となり、債券需要を下支えしました。この比較的安定した局面は2018年に変化し始めました。FRBが利上げとバランスシート縮小による金融政策の正常化を試みた結果、米国国債の利回り曲線(イールドカーブ)はフラット化し、最終的には逆イールドとなり、景気サイクルの終わりに伴う成長鈍化懸念や景気後退リスクへの懸念が高まりました。

次の大きな転換点となったのは、2020年初頭の新型コロナウイルス感染症の拡大でした。市場の初期の混乱は米国国債市場にも一時的な機能不全をもたらしましたが、前例のない金融・財政支援により、市場の信認は急速に回復しました。各国中央銀行は資産購入を拡大し、フォワードガイダンス(中央銀行による将来の金融政策に関する指針、政策の指針)を強化したことで、米国国債利回りは過去最低水準に低下し、世界各国の国債利回りも米国国債と同様に低下しました。しかし、この低利回り環境は2021年に終焉を迎えました。供給制約、経済再開に伴う需要、積極的な財政刺激策によりインフレが急上昇したことから、各国中央銀行は2022年から2023年にかけて、やむを得ず急速な金融引き締めサイクルに移行しました。これにより世界の債券市場は急激な再評価を迫られ、米国国債利回りは数年ぶりの高水準に上昇し、債券投資家にとって数十年で最も厳しい局面の一つとなりました。2024年から2025年にかけても、利回りは高止まりし、インフレの粘着性や財政の持続可能性、債券供給への懸念が続いたことから、長期債のボラティリティ(変動性)が高まり、政策シグナルやマクロ経済指標への感応度が一段と増しました。

アジア諸国の現地通貨建て国債市場は、こうした世界的な動きに対応しつつ、アジア地域固有の政策選択や構造的特徴も反映して進化しました。世界金融危機時には、アジアの債券市場は比較的堅調に推移し、各国中央銀行はFRBに歩調を合わせて金融緩和を実施しました。健全な財政基盤と銀行システムがアジア諸国の現地通貨建て国債を下支えするなか、利回りは政策緩和と国内投資家需要の強まりを背景に低下しました。

危機後の数年間、世界的な量的緩和はアジアに強い波及効果をもたらしました。先進国の超低金利は高利回りのアジア諸国の現地通貨建て国債への資金流入を促し、利回りが低下し、市場の発展を後押ししました。複数の国で現地通貨建て債券市場の深化や投資家層の拡大が進み、中国はオンショア債券市場の段階的な自由化を進め、安定的な海外資金の流入を呼び込みました。2013年に発生した米国のテーパータントラム（量的緩和の縮小に対する市場の混乱）発生時には、アジア地域において重要なストレス局面が生じました。FRBの資産購入縮小観測が資本流出を引き起こしたことから、外部不均衡を抱える市場では利回り上昇と通貨安が顕著となりました。

2020年の新型コロナウイルス感染症によるショックは、アジア諸国の現地通貨建て国債市場にとっても転換点となりました。各国政府は財政支援を実施し、中央銀行は金融緩和を進め、利回りは低下しましたが、市場機能は概ね秩序を保ちました。2021年以降、世界的なインフレ上昇とFRBの積極的な金融引き締めにより再びボラティリティが高まりましたが、アジアのインフレ圧力は概して抑制的でした。それでも、米国金利の上昇とアメリカドル高はアジア諸国の現地通貨建て国債市場の圧力となりました。2025年4月、トランプ米大統領は市場予想を大きく上回る水準の「解放の日」関税を発表しました。この関税は、米国との貿易黒字を抱えるアジア諸国に特に大きな影響を与え、世界貿易の減速とアジア地域の成長鈍化への懸念が高まりました。こうした環境のなか、投資家が安全性を求めたことから、質の高いアジア国債への需要が強まりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「株式」は主に「アジア・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド クラスA」受益証券（2015年3月までは「チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）」「Nikko AM（モーリシャス）クラスA」「東南アジア株式マザーファンド」各受益証券）、「不動産」は「アジアリートマザーファンド」受益証券、「債券」は「アジア債券マザーファンド」受益証券に投資を行ないました。信託期間中の各資産への投資は、「株式」25%、「不動産」25%、「債券」50%を目途としました。

当ファンドは2007年6月29日の設定以来、約18年7ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2026年1月27日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（アジア・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド クラスA）

ポートフォリオでは、配当性向と配当の安定性を精査し銘柄の見直しを行なうとともに、中長期的な配当利回りの面で魅力が高く、かつ株価の成長が期待できると判断した銘柄の組み入れを行ないました。質の高い持続的な成長が見込まれる銘柄や、ファンダメンタルズが好転しつつあるとともに市場平均と比較して魅力的な配当利回りを提供する銘柄に投資しました。

## (アジアンリートマザーファンド)

主として、日本を除くアジア諸国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託を投資対象とし、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。ポートフォリオではシンガポールのリートへの投資比率を最大とし、ついで香港のリーートの比率を高めとしました。

シンガポールのリートについては、小売りやデータセンター、物流施設などに投資する銘柄を中心に組み入れました。当ファンドでは、デジタル化やeコマースなど複数年にわたる構造的な成長トレンドがある資産クラスとして、データセンターや物流についてポジティブなスタンスをとりました。

## (アジアンボンドマザーファンド)

当ファンドは、困難で変動の激しい世界市場環境のなか、規律のあるリスク管理姿勢を維持しつつ、収益機会を捉えるためにポートフォリオのポジションを積極的に調整しました。ポートフォリオの構築にあたっては、インカム収益の確保とポートフォリオの資産価値維持のバランスに重点を置き、デュレーション（金利感応度）、イールドカーブ（利回り曲線）のエクスポージャー、そして市場固有のリスクを精緻に調整しました。当該期間を通じて、不要な集中や過度なボラティリティを回避するために、リスクを慎重に管理し、変化するマクロ経済環境下でもポートフォリオの安定性を維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は5,080円（税込み）となりました。また、第174期～第177期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりとしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第174期	第175期	第176期	第177期
	2025年9月17日～ 2025年10月14日	2025年10月15日～ 2025年11月14日	2025年11月15日～ 2025年12月15日	2025年12月16日～ 2026年1月14日
当期分配金	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.251%	0.246%	0.248%	0.248%
当期の収益	14	27	13	4
当期の収益以外	15	2	16	25
翌期繰越分配対象額	2,811	3,045	3,030	3,006

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年9月17日～2026年1月27日)

項 目	第174期～第178期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	57 (23) (31) ( 3 )	0.477 (0.192) (0.261) (0.024)	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	3 ( 3 )	0.022 (0.022)	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	1 ( 1 )	0.005 (0.005)	(c)有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 等 ) ( そ の 他 )	17 ( 8 ) ( 0 ) ( 4 ) ( 4 )	0.138 (0.069) (0.002) (0.034) (0.032)	(d)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	78	0.642	
作成期間の平均基準価額は、11,999円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

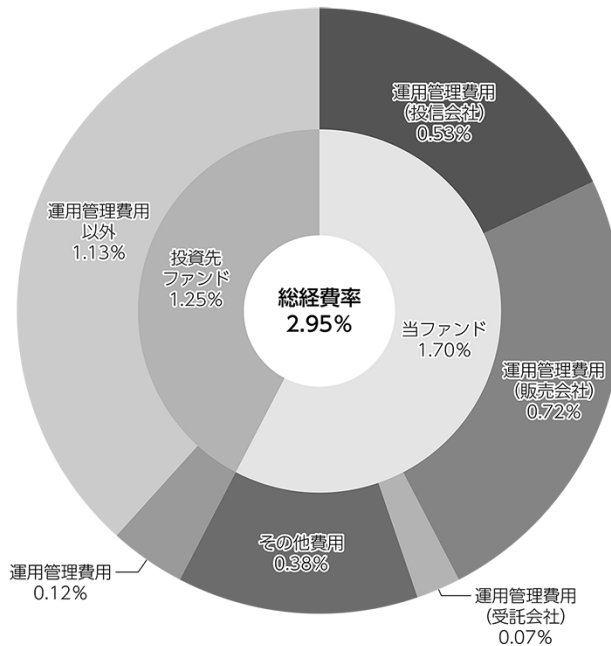
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.95%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	2.95
①当ファンドの費用の比率	1.70
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.12
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.13

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年9月17日～2026年1月27日)

## 投資信託証券

銘柄		第174期～第178期			
		買付		売却	
		口数	金額	口数	金額
国内	アジア・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド クラスA	千口 1,726	千円 2,906	千口 179,849	千円 294,634

(注) 金額は受け渡し代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第174期～第178期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
	アジアンリートマザーファンド	146	540	74,467	273,489
	アジアンボンドマザーファンド	—	—	249,064	532,018

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年9月17日～2026年1月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年9月17日～2026年1月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年9月17日～2026年1月27日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2026年1月27日現在)

2026年1月27日現在、有価証券等の組入れはございません。

**ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細**

銘	柄	第173期末	
		口	数
アジア・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド クラスA			千口 178,122
合	計		178,122

**親投資信託残高**

銘	柄	第173期末	
		口	数
アジアンリートマザーファンド			千口 74,320
アジアンボンドマザーファンド			249,064

## ○投資信託財産の構成

(2026年1月27日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 972,768	% 100.0
投資信託財産総額	972,768	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末	償 還 時
	2025年10月14日現在	2025年11月14日現在	2025年12月15日現在	2026年1月14日現在	2026年1月27日現在
	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>1,100,522,920</b>	<b>1,098,762,876</b>	<b>1,020,222,001</b>	<b>993,488,284</b>	<b>972,768,582</b>
コール・ローン等	36,002,141	41,760,797	35,827,667	500,170,823	972,748,939
投資信託受益証券(評価額)	277,221,028	257,999,191	246,275,294	—	—
アジアリートマザーファンド(評価額)	264,792,148	258,452,882	245,783,879	—	—
アジア債券マザーファンド(評価額)	519,225,330	515,103,804	492,334,684	493,307,358	—
未収入金	3,281,794	25,445,646	—	—	—
未収利息	479	556	477	10,103	19,643
<b>(B) 負債</b>	<b>6,719,565</b>	<b>34,061,542</b>	<b>6,867,241</b>	<b>14,608,711</b>	<b>2,752,945</b>
未払収益分配金	2,753,951	2,629,065	2,523,473	2,433,842	—
未払解約金	2,294,753	29,541,633	2,428,969	10,260,375	1,427,611
未払信託報酬	1,082,183	1,213,138	1,153,084	1,074,571	454,317
その他未払費用	588,678	677,706	761,715	839,923	871,017
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,093,803,355</b>	<b>1,064,701,334</b>	<b>1,013,354,760</b>	<b>978,879,573</b>	<b>970,015,637</b>
元本	917,983,952	876,355,192	841,157,668	811,280,909	804,122,429
次期繰越損益金	175,819,403	188,346,142	172,197,092	167,598,664	—
償還差益金	—	—	—	—	165,893,208
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>917,983,952口</b>	<b>876,355,192口</b>	<b>841,157,668口</b>	<b>811,280,909口</b>	<b>804,122,429口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	11,915円	12,149円	12,047円	12,066円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	12,063円03銭

(注) 当ファンドの第174期首元本額は923,422,650円、第174～178期中追加設定元本額は7,868,372円、第174～178期中一部解約元本額は127,168,593円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第174期1.1915円、第175期1.2149円、第176期1.2047円、第177期1.2066円、第178期1.206303円です。

## ○損益の状況

項 目	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期
	2025年9月17日～ 2025年10月14日	2025年10月15日～ 2025年11月14日	2025年11月15日～ 2025年12月15日	2025年12月16日～ 2026年1月14日	2026年1月15日～ 2026年1月27日
	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	12,432	14,490	16,062	211,501	866,799
受取利息	12,432	14,490	16,062	211,501	137,361
その他収益金	—	—	—	—	729,438
(B) 有価証券売買損益	29,270,777	24,282,370	△ 4,945,381	4,792,258	△ 631,531
売買益	29,350,268	25,020,413	4,630,463	7,433,762	902
売買損	△ 79,491	△ 738,043	△ 9,575,844	△ 2,641,504	△ 632,433
(C) 信託報酬等	△ 1,164,837	△ 1,305,794	△ 1,241,159	△ 1,156,648	△ 489,016
(D) 当期損益金 (A+B+C)	28,118,372	22,991,066	△ 6,170,478	3,847,111	△ 253,748
(E) 前期繰越損益金	142,935,037	160,637,665	172,872,011	158,366,329	158,316,063
(F) 追加信託差損益金	7,519,945	7,346,476	8,019,032	7,819,066	7,830,893
(配当等相当額)	( 89,807,432)	( 85,901,229)	( 83,452,461)	( 80,583,699)	( 79,955,463)
(売買損益相当額)	(△ 82,287,487)	(△ 78,554,753)	(△ 75,433,429)	(△ 72,764,633)	(△ 72,124,570)
(G) 計(D+E+F)	178,573,354	190,975,207	174,720,565	170,032,506	—
(H) 収益分配金	△ 2,753,951	△ 2,629,065	△ 2,523,473	△ 2,433,842	—
次期繰越損益金(G+H)	175,819,403	188,346,142	172,197,092	167,598,664	—
償還差益金(D+E+F+H)	—	—	—	—	165,893,208
追加信託差損益金	7,519,945	7,346,476	8,019,032	7,819,066	—
(配当等相当額)	( 89,808,243)	( 85,902,571)	( 83,459,451)	( 80,583,889)	( —)
(売買損益相当額)	(△ 82,288,298)	(△ 78,556,095)	(△ 75,440,419)	(△ 72,764,823)	( —)
分配準備積立金	168,299,458	180,999,666	171,469,993	163,352,341	—
繰越損益金	—	—	△ 7,291,933	△ 3,572,743	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2025年9月17日～2026年1月27日の期間に当ファンドが負担した費用は898,877円です。

(注) 分配金の計算過程(2025年9月17日～2026年1月14日)は以下の通りです。

項 目	2025年9月17日～ 2025年10月14日	2025年10月15日～ 2025年11月14日	2025年11月15日～ 2025年12月15日	2025年12月16日～ 2026年1月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,362,345円	2,426,278円	1,121,455円	390,691円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	26,756,027円	20,564,788円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	89,808,243円	85,902,571円	83,459,451円	80,583,889円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	142,935,037円	160,637,665円	172,872,011円	165,395,492円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	260,861,652円	269,531,302円	257,452,917円	246,370,072円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,841円	3,075円	3,060円	3,036円
g. 分配金	2,753,951円	2,629,065円	2,523,473円	2,433,842円
h. 分配金(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2007年6月29日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2026年1月27日			資産総額	972,768,582円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	2,752,945円	
				純資産総額	970,015,637円	
受益権口数	4,992,609,974口	804,122,429口	△4,188,487,545口	受益権口数	804,122,429口	
元本額	4,992,609,974円	804,122,429円	△4,188,487,545円	1万円当たり償還金	12,063円03銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	6,315,376,464円	6,385,512,698円	10,111円	－円	－%	
第2期	8,212,854,847	7,979,189,111	9,715	－	－	
第3期	8,543,089,141	8,578,831,023	10,042	50	0.5	
第4期	8,938,661,788	8,940,744,046	10,002	100	1.0	
第5期	9,058,417,375	7,666,088,308	8,463	50	0.5	
第6期	9,055,507,299	7,973,217,868	8,805	50	0.5	
第7期	8,898,754,206	7,258,492,492	8,157	50	0.5	
第8期	8,636,508,592	6,315,826,250	7,313	50	0.5	
第9期	8,393,893,802	4,734,498,158	5,640	30	0.3	
第10期	8,205,758,371	4,416,975,390	5,383	30	0.3	
第11期	8,167,543,432	4,553,092,061	5,575	30	0.3	
第12期	8,152,004,296	5,218,874,002	6,402	30	0.3	
第13期	8,124,747,899	5,290,860,466	6,512	30	0.3	
第14期	8,064,657,203	5,667,245,210	7,027	20	0.2	
第15期	7,995,783,980	5,860,186,846	7,329	20	0.2	
第16期	7,909,013,923	6,101,301,037	7,714	20	0.2	
第17期	7,787,423,331	5,922,914,206	7,606	20	0.2	
第18期	7,677,373,933	6,055,410,981	7,887	20	0.2	
第19期	7,604,229,563	5,697,144,424	7,492	20	0.2	
第20期	7,509,286,719	5,681,823,439	7,566	20	0.2	
第21期	7,381,718,939	5,836,564,886	7,907	20	0.2	
第22期	7,226,115,688	5,649,068,926	7,818	20	0.2	
第23期	7,048,222,346	5,365,379,496	7,612	20	0.2	
第24期	6,819,823,612	5,266,514,254	7,722	20	0.2	
第25期	6,613,987,892	5,049,303,465	7,634	20	0.2	
第26期	6,477,214,213	4,554,772,987	7,032	20	0.2	
第27期	6,304,054,946	4,326,431,800	6,863	20	0.2	
第28期	6,116,366,975	4,057,287,746	6,633	20	0.2	
第29期	5,877,762,687	4,484,373,903	7,629	20	0.2	
第30期	5,742,441,821	4,072,576,077	7,092	20	0.2	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	5,620,770,684円	3,924,795,178円	6,983円	20円	0.2%
第32期	5,470,383,737	3,862,246,800	7,060	20	0.2
第33期	5,271,813,115	3,900,498,248	7,399	20	0.2
第34期	5,091,540,290	4,413,690,841	8,669	20	0.2
第35期	4,786,555,801	4,433,687,131	9,263	20	0.2
第36期	4,427,880,680	4,424,084,325	9,991	20	0.2
第37期	4,186,138,049	3,749,270,082	8,956	20	0.2
第38期	4,032,607,486	3,464,807,392	8,592	20	0.2
第39期	3,943,082,055	3,392,789,051	8,604	20	0.2
第40期	3,711,161,084	3,267,914,928	8,806	20	0.2
第41期	3,610,754,022	3,170,260,088	8,780	20	0.2
第42期	3,505,071,213	3,188,214,313	9,096	20	0.2
第43期	3,355,583,421	3,106,072,513	9,256	20	0.2
第44期	3,136,413,007	3,096,125,750	9,872	20	0.2
第45期	2,925,061,954	3,121,734,178	10,672	20	0.2
第46期	2,628,899,574	2,889,005,518	10,989	20	0.2
第47期	2,490,085,449	2,799,061,900	11,241	20	0.2
第48期	2,413,417,802	2,804,497,052	11,620	30	0.3
第49期	2,602,682,229	2,957,140,181	11,362	30	0.3
第50期	2,608,399,606	3,010,995,237	11,543	30	0.3
第51期	2,572,686,594	2,936,671,509	11,415	30	0.3
第52期	2,496,099,637	2,721,727,086	10,904	30	0.3
第53期	2,437,726,566	2,473,327,736	10,146	30	0.3
第54期	2,438,621,131	2,545,400,935	10,438	30	0.3
第55期	2,375,764,877	2,473,503,717	10,411	30	0.3
第56期	2,354,009,388	2,380,010,781	10,110	30	0.3
第57期	2,306,763,081	2,215,463,931	9,604	30	0.3
第58期	2,301,758,439	2,151,113,871	9,346	30	0.3
第59期	2,287,907,513	2,251,159,780	9,839	30	0.3
第60期	2,257,225,930	2,195,628,687	9,727	30	0.3
第61期	2,257,950,463	2,122,223,732	9,399	30	0.3
第62期	2,253,625,936	2,093,624,027	9,290	30	0.3
第63期	2,231,900,358	2,112,147,784	9,463	30	0.3
第64期	2,229,564,287	2,093,466,375	9,390	30	0.3
第65期	2,221,313,481	2,071,337,633	9,325	30	0.3
第66期	2,218,288,641	2,062,354,262	9,297	30	0.3
第67期	2,212,839,727	2,044,934,674	9,241	30	0.3
第68期	2,194,636,796	2,137,085,157	9,738	30	0.3
第69期	2,167,595,952	2,100,081,087	9,689	30	0.3

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第70期	2,139,169,904円	2,099,750,985円	9,816円	30円	0.3%
第71期	2,117,172,624	2,081,237,211	9,830	30	0.3
第72期	2,092,722,749	2,022,899,092	9,666	30	0.3
第73期	2,069,812,920	2,088,745,687	10,091	30	0.3
第74期	2,042,060,941	2,044,585,586	10,012	30	0.3
第75期	2,005,796,920	2,067,930,121	10,310	30	0.3
第76期	1,987,829,418	1,992,419,902	10,023	30	0.3
第77期	1,963,852,465	2,022,762,776	10,300	30	0.3
第78期	1,931,520,666	2,013,726,814	10,426	30	0.3
第79期	1,874,209,405	1,991,237,936	10,624	30	0.3
第80期	1,862,463,946	1,990,631,148	10,688	30	0.3
第81期	1,834,146,094	1,983,134,782	10,812	30	0.3
第82期	1,816,555,967	1,840,583,830	10,132	30	0.3
第83期	1,811,422,753	1,841,424,540	10,166	30	0.3
第84期	1,803,284,855	1,830,356,491	10,150	30	0.3
第85期	1,802,460,170	1,827,893,794	10,141	30	0.3
第86期	1,785,473,090	1,803,808,259	10,103	30	0.3
第87期	1,776,189,899	1,772,599,984	9,980	30	0.3
第88期	1,749,096,026	1,700,257,584	9,721	30	0.3
第89期	1,728,596,666	1,677,205,081	9,703	30	0.3
第90期	1,717,691,053	1,614,065,911	9,397	30	0.3
第91期	1,700,121,538	1,637,123,482	9,629	30	0.3
第92期	1,694,373,475	1,665,008,634	9,827	30	0.3
第93期	1,677,611,380	1,595,915,043	9,513	30	0.3
第94期	1,671,483,266	1,663,152,739	9,950	30	0.3
第95期	1,670,340,809	1,680,295,375	10,060	30	0.3
第96期	1,650,955,504	1,699,532,737	10,294	30	0.3
第97期	1,638,151,289	1,599,491,734	9,764	30	0.3
第98期	1,639,710,797	1,619,275,456	9,875	30	0.3
第99期	1,628,476,572	1,644,532,239	10,099	30	0.3
第100期	1,611,453,755	1,555,344,215	9,652	30	0.3
第101期	1,603,825,493	1,605,063,319	10,008	30	0.3
第102期	1,591,749,033	1,598,036,538	10,040	30	0.3
第103期	1,574,154,315	1,591,987,363	10,113	30	0.3
第104期	1,563,613,400	1,604,606,750	10,262	30	0.3
第105期	1,553,626,526	1,650,883,170	10,626	30	0.3
第106期	1,478,429,126	1,548,489,082	10,474	30	0.3
第107期	1,462,797,255	1,350,295,653	9,231	30	0.3
第108期	1,451,522,067	1,289,033,684	8,881	30	0.3

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第109期	1,450,457,255円	1,320,348,147円	9,103円	30円	0.3%
第110期	1,443,696,991	1,372,457,119	9,507	30	0.3
第111期	1,437,233,237	1,392,287,143	9,687	30	0.3
第112期	1,430,438,806	1,414,695,378	9,890	30	0.3
第113期	1,423,514,795	1,394,945,521	9,799	30	0.3
第114期	1,406,975,820	1,382,122,640	9,823	30	0.3
第115期	1,391,373,466	1,385,173,411	9,955	30	0.3
第116期	1,358,128,417	1,378,736,178	10,152	30	0.3
第117期	1,326,204,817	1,391,242,054	10,490	30	0.3
第118期	1,343,588,133	1,420,545,734	10,573	30	0.3
第119期	1,340,250,305	1,417,139,291	10,574	30	0.3
第120期	1,318,171,319	1,399,484,610	10,617	30	0.3
第121期	1,305,064,748	1,395,031,793	10,689	30	0.3
第122期	1,293,497,296	1,416,103,595	10,948	30	0.3
第123期	1,287,504,531	1,392,719,368	10,817	30	0.3
第124期	1,274,482,305	1,353,560,896	10,620	30	0.3
第125期	1,259,480,988	1,344,743,688	10,677	30	0.3
第126期	1,247,968,427	1,329,684,992	10,655	30	0.3
第127期	1,232,070,843	1,327,719,445	10,776	30	0.3
第128期	1,221,641,778	1,289,870,672	10,559	30	0.3
第129期	1,206,180,757	1,287,550,221	10,675	30	0.3
第130期	1,203,733,440	1,289,276,200	10,711	30	0.3
第131期	1,202,433,151	1,263,182,225	10,505	30	0.3
第132期	1,192,116,412	1,319,943,031	11,072	30	0.3
第133期	1,231,792,974	1,328,591,081	10,786	30	0.3
第134期	1,224,853,671	1,359,898,537	11,103	30	0.3
第135期	1,225,311,217	1,365,984,819	11,148	30	0.3
第136期	1,203,100,631	1,328,262,877	11,040	30	0.3
第137期	1,193,531,369	1,365,429,026	11,440	30	0.3
第138期	1,188,051,466	1,249,519,574	10,517	30	0.3
第139期	1,187,190,773	1,235,085,529	10,403	30	0.3
第140期	1,181,346,282	1,256,887,788	10,639	30	0.3
第141期	1,178,391,156	1,232,387,346	10,458	30	0.3
第142期	1,179,764,651	1,267,818,075	10,746	30	0.3
第143期	1,179,817,193	1,225,404,754	10,386	30	0.3
第144期	1,182,769,051	1,262,153,911	10,671	30	0.3
第145期	1,184,725,083	1,269,487,305	10,715	30	0.3
第146期	1,183,927,155	1,289,169,154	10,889	30	0.3
第147期	1,173,639,906	1,272,065,477	10,839	30	0.3

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第148期	1,174,710,033円	1,288,600,827円	10,970円	30円	0.3%
第149期	1,174,271,510	1,276,345,769	10,869	30	0.3
第150期	1,164,309,260	1,245,177,589	10,695	30	0.3
第151期	1,157,796,188	1,254,103,352	10,832	30	0.3
第152期	1,127,987,353	1,191,441,331	10,563	30	0.3
第153期	1,110,242,604	1,207,242,628	10,874	30	0.3
第154期	1,100,382,379	1,208,045,253	10,978	30	0.3
第155期	1,073,689,952	1,169,974,828	10,897	30	0.3
第156期	1,069,395,152	1,168,804,784	10,930	30	0.3
第157期	1,051,274,138	1,168,560,051	11,116	30	0.3
第158期	1,046,141,141	1,165,930,446	11,145	30	0.3
第159期	1,032,873,568	1,186,066,832	11,483	30	0.3
第160期	1,030,859,127	1,110,162,955	10,769	30	0.3
第161期	1,005,790,157	1,086,853,392	10,806	30	0.3
第162期	1,004,258,732	1,145,025,068	11,402	30	0.3
第163期	989,281,750	1,109,801,192	11,218	30	0.3
第164期	984,950,886	1,093,595,453	11,103	30	0.3
第165期	980,758,024	1,073,265,223	10,943	30	0.3
第166期	977,361,842	1,061,894,552	10,865	30	0.3
第167期	967,445,028	1,033,231,189	10,680	30	0.3
第168期	962,329,203	960,587,267	9,982	30	0.3
第169期	964,228,695	1,040,273,960	10,789	30	0.3
第170期	959,781,045	1,032,741,772	10,760	30	0.3
第171期	954,326,851	1,059,882,152	11,106	30	0.3
第172期	938,867,071	1,066,756,785	11,362	30	0.3
第173期	923,422,650	1,074,750,623	11,639	30	0.3
第174期	917,983,952	1,093,803,355	11,915	30	0.3
第175期	876,355,192	1,064,701,334	12,149	30	0.3
第176期	841,157,668	1,013,354,760	12,047	30	0.3
第177期	811,280,909	978,879,573	12,066	30	0.3

## ○分配金のお知らせ

	第174期	第175期	第176期	第177期
1 万口当たり分配金 (税込み)	30円	30円	30円	30円

## ○償還金のお知らせ

---

1万口当たり償還金(税込み)	12,063円03銭
----------------	------------

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2025年9月17日から2026年1月27日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。